

2024年度 高松市陸上競技選手権大会 競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則により行い、同連盟広告規定を適用する。
また、本大会申し合わせ事項により実施する。

2 ID (カード) コントロールについて

- (1) 競技場内に入場出来るのは、競技者・審判員・本協会が認める者に限る。但し、個人でエントリーをしている小学生の保護者に関しては、引率という立場で1名のみ認め、『コーチ用IDカード(グリーン)』を配布する。また、小学生対象のクラブチームについては、最大で『コーチ用IDカード(グリーン)』を3～5枚配布する。競技場入場の際には、屋島レクザムフィールド利用規則を遵守すること。
- (2) 配布された『コーチ用IDカード(グリーン)』については、大会中は提示しておくようにしてください。大会終了後には、返却をお願いします。『IDカード』の紛失を防ぐために、1,000円を預からせていただきます。
- (3) 競技者の本大会中の控え場所は、メインスタンドとバックスタンドのみとする。(トイレの使用はスタンド2Fのみ)
- (4) 本大会申し合わせ事項で協議された内容を遵守すること。

3 1日日程変更に伴う競技方法の変更について

- (1) トラック競技に関しては、全種目タイムレース決勝とする。

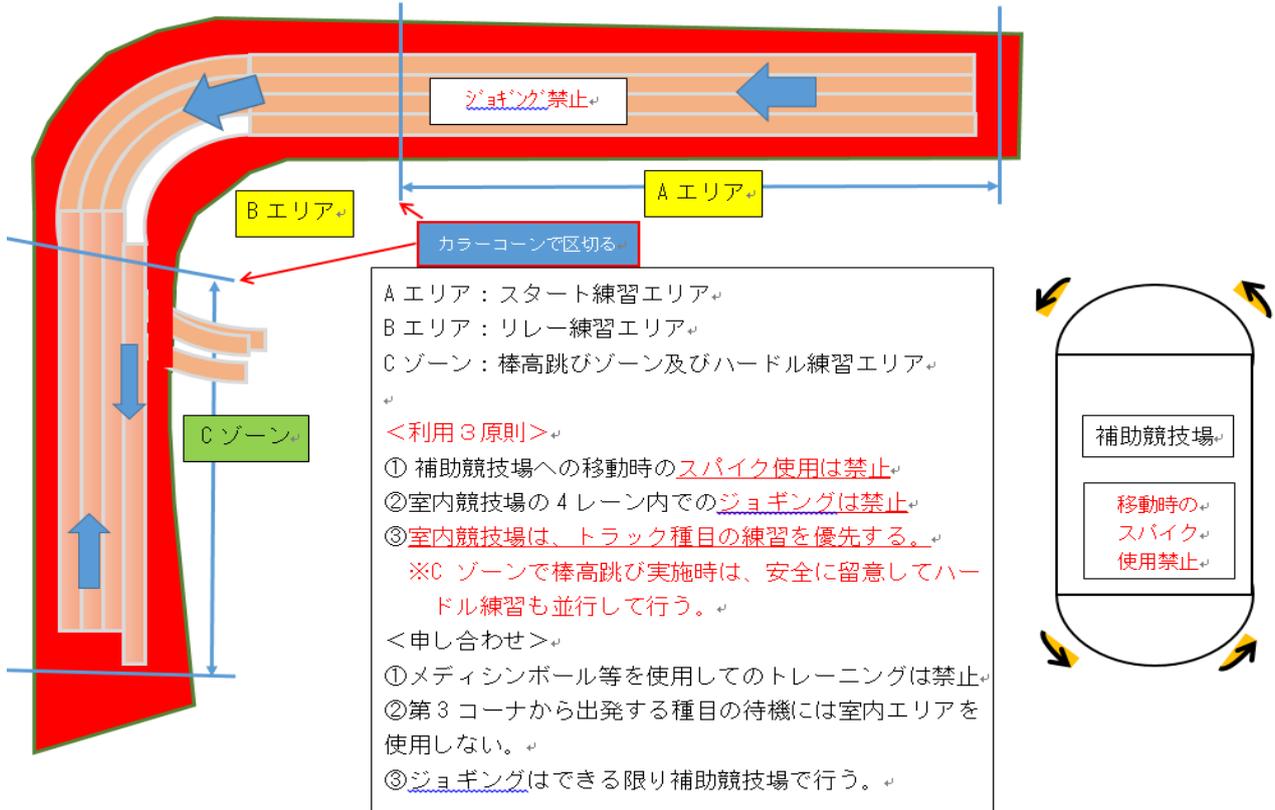
4 オープン選手について

- (1) トラック競技に関しては、予選ラウンドが行われる場合は予選ラウンドのみ、決勝レースのみの場合は、そのレースのみとする。
- (2) フィールド競技に関しては、3回の試技のみとする。

5 練習について

- (1) 下図の【大会時の補助競技場・室内競技場の利用の仕方】に従い、その日に競技が行われる種目の練習を審判員の指示に従い、安全に留意して行うこと。
- (2) 室内競技場に関しては、第2コーナー(1500mスタート)から第3コーナー(200mスタート)方向へ走行すること。
- (3) 補助競技場での投てき練習は禁止とする。また、室内競技場でのフィールド種目の練習は、室内走路設定種目と重ならない場合のみ、練習を行うことが出来る。よって、フィールド種目の練習は、競技開始60分前から主競技場で審判員の指示に従い練習することができる。

【大会時の補助競技場・室内競技場の利用の仕方】



6 競技者の招集について

- (1) 招集場所は、トラック種目については、第2ゲート外側の招集所で、フィールド種目については、それぞれの競技場所で行う。
- (2) 招集完了時刻は、トラック競技は15分前、フィールド競技は、競技場所で30分前とする。
- (3) 競技者は、それぞれの招集場所で待機し、最終チェックを受ける。
- (4) 棒高跳に限り各自で入場し、招集完了時刻に競技場所で最終チェックを受ける。
- (5) 招集完了時刻に遅刻した競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。
- (6) リレー種目に出場しているチームの中で、エントリー時点でオーダー入力が出ていないチームの代表者は、午前9時までに、受付にある所定の用紙に、エントリーオーダーを記入して提出すること。その後、「リレーオーダー用紙」を、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
- (7) 2種目以上を同時刻に兼ねて出場する競技者は、競技開始前に「2種目同時出場」を招集所に提出すること。
- (8) 競技を棄権する場合は、「棄権届」を招集所に提出すること。

7 競技場内への入場について

競技場への入退場は、全て審判員の指示に従い、競技者以外は競技場内に立ち入ることはできない。

8 アスリートビブスについて

- (1) 大きさは、横24cm以内、縦16cm以内とする。また、文字の高さは6cm～10cmで、読みやすいものとする。
- (2) 本年度の所属都道府県陸上競技協会へ登録したナンバーを使用し、必ずユニフォームの胸と背に確実に付ける。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背のいずれかだけでよい。
- (3) トラック競技の800m以上の種目においては、順位確定のために主催者の用意したシールタイプの腰ナンバーカードをランニングパンツ（スパッツ）の右横に付ける。

9 走路順と試技順について

- (1) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とする。
- (2) 「2種目同時出場届」を提出している競技者で、事情やむを得ないと判断した場合に限り、フィールド競技のみについて競技順を変更して出場させることがある。
- (3) トラック競技で棄権者がある場合は、その競技者のレーンをあける。
- (4) トラック競技の予選において棄権者が多く、予選を行う必要人数以下（直線種目は9名以下、200m～800mまでは8名以下）になった場合、予選をとりやめその種目の決勝の時刻に決勝を行う。

10 走高跳と棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 当日の状況に応じて、審判員の合議により決定する。
- (2) 男女棒高跳びについては、競技者が多数参加することとエントリー記録の差を考慮し、公式練習を2回に分けて行う場合がある。

11 用器具について

- (1) 棒高跳用ポール以外の用器具は、競技場備え付けの物を使用する。
- (2) 棒高跳用ポールは、競技場所で検査を受けて合格した物に限り使用することができる。

12 競技場使用上の注意について

- (1) 競技場使用規定を厳守すること。
- (2) スパイクピンは9mm以下を使用すること。ただし、走高跳とやり投については、12mm以下とする。（土用のスパイクピンの使用は認めない。）
- (3) 短距離種目では、フィニッシュ後も他の競技者との接触等の危険を回避するため、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- (4) 競技場内にスマートフォン等の通信機器を持ち込まないこと。
- (5) 競技者が使用するマーカーは主催者が用意した物、もしくは、許可を得た物を使用すること。
- (6) 競技場内で出したゴミは各自で持ち帰ること。
- (7) 貴重品は各自で管理すること。

13 表彰について

各種目3位までの入賞者には賞状を授与するので、本部（第4会議室）まで取りに来ること。

14 その他

- (1) 競技者の負傷・疾病については、応急処置以外の責は負わない。
- (2) 記録証明書を希望する場合は、受付で「記録証明書交付申請書」に必要事項を記入し、交付手数料500円を添えて申し込むこと。
- (3) 本競技会の結果は、大会ホームページの他、マスメディアによって公表されます。結果には、順位・記録の他、選手の氏名、所属、都道府県、学年を含みます。
- (4) 参加料の支払いは、競技出場前に受付で済ませてください。なお、大会期間中に支払いができなかった場合は、早急に下記まで現金書留で送付してください。

〒760-0017 香川県高松市番町2丁目9-30 香川県立高松工芸高等学校内
高松市陸上競技協会 三谷 昌輝 宛